

区議会レポート

117号

2025 年 10 月 8 日発行

葛飾区議会議員

かわごえ誠一

本号の内容

表面：区議会第三回定例会など

裏面：決算審査特別委員会分科会

発行：

かつしか区民連合

【区議会控室】 〒124-0012

東京都葛飾区立石 5-13-1

電 話 03-3695-1111 (代)

f a x 03-3697-0137

葛飾区議会第三回定例会閉会

◆第三回定例会が10月7日（火）に閉会しました。

■第二次一般会計補正予算 71 億 5,600 万円

◆今定例会最終本会議において一般会計第二次補正予算 71 億 5,600 万円他特別会計補正予算などが議決されました。

■令和 6 年度各会計決算認定

◆令和 6 年度各会計決算が決算審査特別委員会での各分科会の審査を経て認定されました。◆最終本会議においてかわごえ誠一がかつしか区民連合を代表し、決算について賛成の立場から討論に登壇しました。◆なお分科会でのかわごえが発言した意見は裏面に掲載しています。

■かつしか区民連合令和 8 年度予算要望書提出

◆10月7日の第三回定例会閉会后、かつしか区民連合として今期最後となる予算要望を青木かつのり区長宛に提出いたしました。◆各団体や区民からの要望も含め来年度の

予算編成に対し、区政全般について要望をさせていただきました。

◆政策実現するためには11月の改選で改めてご付託をいただく必要がありますが、より良い区政に向け全力を尽くしてまいります。



青木区長に要望書を提出

かわごえ誠一東京都功労者表彰受賞

◆この度、かわごえ誠一が令和 7 年度東京都功労者地域活動功労表彰を受賞しました。

◆10月1日（水）に東京都庁で開催された功労者表彰式に参列しました。◆今年度は都内 273 の個人・団体が受賞し、その一端に席をいただけたことをとてもありがたく

思います。◆この表彰をいただけたことは、これまで活動を支えていただいた多くの皆さまのご支援、ご協力があったことと改めて感謝を申し上げます。◆これを励みに更に地域や区民のために尽力してまいりますのでどうぞよろしくお願いいたします。

令和 7 年度

東京都名誉都民顕彰
東京都功労者表彰



葛飾区議会・区長選挙

◆告示日：令和 7 年 11 月 2 日（日） ◆定 数：区議会議員 40 人 ◆区長：1 人

◆投票日・開票日：令和 7 年 11 月 9 日（日） ◆期日前投票：11 月 3 日（月）～8 日（土）

◆今年 11 月に区議会議員の任期満了を迎えます。選管には現在 78 名が立候補届けの書類を受け取りにきたとのことです。

■かわごえ誠一連絡先■

〒124-0012 葛飾区立石 8-4 7-1 8

携帯電話 090-2932-7315

e-mail：info@kawagoeseiichi.com

◆かわごえ誠一プロフィール◆

●1963年3月川崎市生まれ ●立石在住37年 ●防災士 ●子育てネットワーク・学童保育・PTA・図書館友の会などの活動に取組む ●都議会議員秘書を経て2013年区議選で初当選・2021年三期目当選 ●議会所属：保健福祉委員会・議会運営委員会・危機管理対策特別委員会など

かわごえ誠一オフィシャルサイト www.kawagoeseiichi.com →

日々の活動は Facebook かわごえ誠一をご覧ください。



令和6年度決算審査特別委員会分科会報告

◆今定例会では令和6年度決算が報告され、決算審査特別委員会が設置されました。◆9月29日（月）から四つの分科会に分かれ審査され、かわごえ誠一は総務費と産業経済費を審査する第一分科会（9月29日開催）及び、教育費と各特別会計などを審査する第四分科会（10月2日開催）に所属しました。◆以下、分科会でのかわごえの発言の要旨を報告します。



◆第一分科会（総務費・産業経済費）

■ 総務費 ■

● 総務管理費

◆**文書管理経費**：この10月から公文書等管理条例が本格施行される。これまでのアーキビストの配置や公文書管理委員会の設置など評価する。条例に基づき適切に事務事業を執行していくための研修の充実や体制整備を求める。また、行政保存文書以外の民間文書について区制100周年に向けて博物館などと連携した保存体制の検討を求める。

◆**個人情報保護・情報公開経費**：9月12日の保健福祉委員会で報告された昨年の匿名加工情報の不適切な扱いについて、所管が匿名加工情報を個人情報と認識していなかったとことが課題である。区の個人情報保護全般に関わることであり、今後、匿名加工情報の扱いについて、区として早急に方向性を示し、契約のあり方なども含めガイドライン作成や条例化などを要望する。

◆**庁舎管理経費**：今年5月17日（土）から18日（日）にかけて庁舎が全面的に停電したが、平日であれば多大な影響が出ていた案件であり、危機管理的観点からも議会への報告が無かったのは問題である。課題のあった高压ケーブルに関して、他施設での状況を把握し、再発防止を求める。

◆**国際交流経費**：区内の在留外国人人口が増加しており、現在の体制では限界に来ている。対応するため文化部門と国際部門を分け、体制整備を早急に進めるべきだ。また、区内の在留外国人の状況を調査し、支援者などから情報収集を実施するなど、支援体制を整備することを求める。

◆**協働推進経費**：協働の考えが、行き当たりバッタリに感じる。中間支援組織の検討を求めるとともに、区内での活動のポータルサイトやデータベースの整備を求める。

◆**災害対策経費**：避難所を機能させるためには継続的に関われる避難所コーディネーターの検討が必要。避難所の合理的配慮を進めるため当事者からのヒアリングをするとともに手話通訳協会や障害者団体などとの防災協定を求める。

● 区民費

◆**地域活動団体事業助成事業**：年2回の活動助成の募集以外に年度途中でも対応できる助成制度の検討を求める。

◆**文化振興経費**：3月に策定されたアートカルチャー基本方針を実行するための具体的な予算化などを求める。柴又川甚の文化的資料の台帳を作成し公開すべきである。

■ 産業経済費 ■

● 産業振興費

◆**ものづくり企業地域共生事業費助成**：オープンファクトリーへの支援を評価する。現場の意向を確認しさらに支援の拡充を要望する。3月に策定されたアートカルチャー基本方針に基づきアートと中小企業との連携を検討せよ。

◆第四分科会（教育費・特別会計他）

■ 教育費 ■

● 教育総務費

◆**学習センター・学校図書館運営経費**：学校司書の欠員に随時対応できる体制整備が必要である。また、学校規模によって学校司書の業務量に差があり、複数配置なども検討すべき。学校図書館コーディネーターについては複数配置など体制整備を求める。学校改築で不要になった学校図書館の書架などを他の学校で活用するための支援を求める。

◆**特別支援教育推進経費**：青戸中学校の難聴学級の講師が都から廃止されるが、区として継続を求める。

◆**総合教育センター**：センター長の継続を評価する。にほんごステップアップ教室について区の北部地区への設置を求める。不登校対策での校内サポートルームの来年度の中学校全校への設置は評価する。小学校の登校サポーターの配置を早急に進め、独自に居場所を設置している学校への支援を求める。ふれあいスクール明石は2施設目も検討し、将来的に不登校特例校＝学びの多様化校の検討を求める。

● 小学校費

◆**小学校運営事業経費**：エデュケーションアシスタントは学校により活用状況に差があるため現状を調査し、教育委員会として指導するために、日報の導入などを求める。

◆**小学校維持管理経費**：区内二校目の校庭に田んぼが整備されたが、生物多様性戦略に基づき教育委員会としてモデル校に指定し継続への支援と今後、他校への拡大を求める。

◆**特別支援学校費**：保田しおさい学校の入校基準について偏食や、ネット・ゲームで昼夜逆転している子どもなども対象にするための検討を求める。

● 中学校費

◆**学校施設維持管理経費**：断熱改修の実証について、ゼロエミッション実現のため校舎の大規模改修時には順次導入すべき。来夏に向け遮熱シートや遮光カーテンなど、大規模改修以外でも全校に早急にできる対策の予算化を求める。

● 社会教育費

◆**地域教育推進経費**：コミュニティ・スクールはコーディネーター育成が重要である。また区の支援体制として学校教育に精通した指導主事に関わる組織体制の検討を求める。

◆**図書館管理運営経費**：電子図書の充実を求めると共に、直営と民間サービスを導入した体制整備の目標である令和9年度に向け、早急に検討を進め、進捗の報告を求める。

◆**博物館管理運営経費**：博物館法に基づく基本的運営方針を早急に策定し、学芸員や収蔵庫などの体制整備すべきだ。

● 社会体育費

◆**体育施設**：バルサアカデミー問題は意思決定過程の記録が課題だ。記録のあり方を改めて確認し体制整備を求める。

